

市議会6月定例会

行政報告

市議会6月定例会が5月31日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

市立総合病院建設本格化

公共事業の発注計画

市立総合病院の建設現場

平成18年度の主な事業は、「雪沢地区の移動通信用鉄塔施設整備事業」が1億円、「花岡保育所改築事業」が1億6,500万円、「小柄沢墓園造成事業」が7,100万円、「二井田公民館改築事業」が9,000万円、「有浦東台線道路改築事業」が繰越分を含み4億円、「有浦東台線街路築造事業」が2億円、「比内まちづくり事業」が3億5,700万円、農業集落排水事業の「十二所北地区」が6億円、「独鈷中野地区」が3億円となっています。

水道事業では、「矢立地区統合簡易水道事業」が2億7,000万円、「管路近代化事業」が1億5,000万円、「老朽管更新事業」と「横岩地区水道未普及地域解消事業」な

ど合わせて2億5,600万円、公共下水道事業が7億5,000万円となっています。

病院事業では、市立総合病院の高層棟建設がいよいよ本格化する「増改築事業」が40億4,600万円で、国や県の事業を合わせ、230億円を超える公共投資が見込まれています。さらに、民間の大

雇用情勢に明るさ

今年3月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は、0・60倍と依然として低い状態が続いていて、昨年同期よりわずかに下回っています。

また、3月卒業者の就職状況は、市内高校卒業者の中で就職を希望した251人のうち就職者は248人、就職率は98・8％で、前年度に比べ0・4ポイント下回っていて、うち141人が県内に就職しています。

秋田桂城短期大学の就職率は97・8％で、前年度に比べ5・6ポイント増、秋田職業能力開発短期大学校においても就職率は98・4％で同比4・6ポイント増といずれも高い就職率でした。

なお、大館市工場等設置促進条例に基づく指定工場は、今年4月1日現在で59社、従業員数は3,884人、うち大館

規模な事業も計画されていることから、一層の景気浮揚や経済振興の効果が期待されます。

市の公共事業は、地域経済に与える影響が大きいことから、できる限り早期発注を図り、適正な予定価格や工期設定を指示し、全力を挙げて景気浮揚対策に努めます。

地域雇用状況

地域では42社、2,915人で、昨年同期と比べて工場数で1社、正社員数は171人増加しています。

現在、二井田地区では県が大館工業団地の拡張を進めていて、今年秋に完成予定です。この工業団地には、ニプロ株式会社約213億円を投資し、新工場を計画していて、330人の雇用が見込まれています。

このように、管内の就職率は順調に推移し、就職者数が前年同期を上回っていることから、雇用情勢に若干の明るさが見えてきていると考えています。

関係各位のご尽力に感謝申し上げますとともに、今後も関係機関や企業と連携しながら、企業誘致や雇用拡大に積極的に取り組んでいきます。

比内地域に救急車

比内分署で救急業務開始

4月1日に比内分署へ救急車を配備しました。

4月中の出動件数は42件で、市全体の24パーセントを占め、病院への収容時間も平均7分短縮し、比内地域を含む市南部の救命率向上に大きな効果であると考

えています。

今後も、救急需要の増加が予想されることから、消防組織の全体的な見直しを行い、田代地域や市北部への救急車の分散配置を計画的に進め、市民の安全と安心に力を注いでいきます。